

# 町自連だより

☎ 042-648-6110

2012年9月現在  
町会自治会数 23地区324  
加入世帯数 120,280世帯

広告の 株式会社ヒラツカ印刷社  
お問い合わせ先 TEL:042-623-0381

## 八王子わが町

### 今井清昭さん オーディオテクネ インコーポレイテッド代表 「ゴラボレーション」で八王子の 活性化を！」

今回の「八王子わが町」は、八王子で起業して35年、今や世界中に顧客を持つオーディオメーカー、オーディオテクネインコーポレイテッド代表、今井清昭さんにお話しを伺いました。

なぜ八王子で起業されたのですか？

今井さん(以下) 私は静岡県岡島の生まれで八王子には縁もゆかりもなかったのですが、あるオーディオメーカーに勤めていた際、八王子に事業所を立ち上げることにになり、それを機に引

越して来ました。以来住み続けていたことから、自然と起業するのも八王子になりました。

私は起業するまでに8回、大小様々な規模のオーディオメーカーに勤めました。当時、業界はまだ好景が続いていましたが『売るた

めだけ』に製品を作っている業界に危機感を感じました。そして、『買って下さるお客様のためにも自らで新しいものを生み出さなければ』という思いから起業しました。

製品は設計から製作まで家族3人でやっていますので、大量生産もしていませんし、決して安いものでもありません。それだけに、お客様には製品を勧めることとせず、製品の価値を認めて下さる方に丁寧にお話しさせて

いただいています。市販のもので満足しないお客様の要望に真摯に向き合ってきたことが、顧客創出につながったと思います。

イタリアを中心にヨーロッパでも多くの顧客をお持ちです。イタリアのオーディオ誌の編集長が雑誌で紹介してくれたことがきっかけで、ヨーロッパ全土へ製品を輸出しています。輸出が始まる前に、イタリアの取引先が「日本の小さなメーカーが作った製品でいいのか?」と聞いたところ、「私達は会社の名前で製品を買うのではなく、この製品を作り出した今井さんを尊敬し、今井さんが作った製品だから買うんです」と言われたことがありました。自分の価値観で製品を見極めているところがあるが、ブランド志向になりがちな日本とは違うなと感じました。そういった方々が多いヨーロッパでは、会社の名前や規模は関係ないんですね。それは、私にとっても嬉し

いことです。八王子に対して感じていることは? 八王子に足りないのは「ゴラボレーション」ではないかと思えます。八王子にはオリンピックに出場するようなトップアスリートや、国内トップレベルの高校の吹奏楽部などがいくつもあります。そういったところともっと連携をとって、スポーツ、文化の発展につながる事業が多くなれば良いと願っています。市民全体でバックアップや応援をすれば、それが八王子の特長となって活性化にもつながっていくのではないのでしょうか。



〈上〉今井清昭さん  
〈左〉イタリアの顧客自宅での記念写真



#### 今井清昭さん プロフィール

- 1942年 静岡県生まれ
- 1978年 オーディオテクネインコーポレイテッド開業
- 1994年 伊へ輸出開始。以後、欧州、米、加、豪など世界中に輸出。各国の専門誌で最高評価を数々受け続けている



# 町自連だより

笑顔を見るのが喜びだから

## ボランティア活動は『無理なく、楽しく』

ボランティアと言っても様々な活動がありますが、今回は自分の趣味や好きなことでボランティア活動をしている方々をご紹介します。

まずは、八王子のボランティア活動状況について、八王子市社会福祉協議会八王子市ボランティアセンターの担当者にお話を伺いました。

『八王子市ボランティアセンター』は、主にボランティア情報提供、ボランティアを受けたい人とボランティアをしたい人とのコーディネート、ボランティアを始めた人への育成などを行っています。

「現在には有償ボランティアや介護サービスが充実しつつあるので、個人のお宅か

らの「介護の手を借りた」というような要望は、ボランティアセンターではあまり多くありません。それよりも、デイサービスなどの介護施設等に、レクリエーションの一環として歌などの音楽や踊り、マジックや手芸、折り紙などの創作活動に来ていただける方や、お話し相手をして下さるボランティアの方を紹介して欲しいという要望が多く寄せられています」

ボランティア登録して下さる方々は、自分の趣味を通じて社会貢献したいという方が多いですね」

「ボランティア」と言っても気負わずに、自分のできる範囲で、自分自身も楽しみながらするのが、長続きするコツでもあるようです。



### 『ボランティアをする心』を育てる活動

「ボランティアセンターでは、若い世代へ向けたボランティア体験や講座、福祉体験学習なども多く開催しています。中でも、市内の小中学校からの依頼が多い福祉体験学習は、年間

約30校の学校へ出向くそうです。

「車いすの体験や、高齢になるといかに体を動かすことが大変か実体験できる高齢者疑似体験シミュレーターの使用、また、盲導犬と一緒に生活している視覚障害者の方や車いすで生活



する肢体不自由な方に講演もしていただいています。子どもたちも、講演などを聴く姿勢はとても真剣です。心の片すみにでもボランティアや福祉のことを覚えていてほしい、いつの日かボランティア活動にも参加してもらいたいです」

〈上〉視覚障害者の方の講演を熱心に聴く中学生 〈右下〉高齢者疑似体験の様子 〈左下〉小学生の車いす体験



## ■地域に密着した活動

### 『ふれあいいききサロン』

八王子市社会福祉協議会が10年ほど前から呼びかけて始まった『ふれあいいききサロン』は、誰もが参加でき、お茶を飲みながらおしゃべりやレクリエーションなどを楽しむ地域交流の場。運営は各地域の住民の方々がボランティアとして担い、地域の見守り、孤立、孤独などを防ぐ介護予防機能も果たしています。現在、市内に約80ヶ所以上あるサロンでは、定期的に開催日を決めて、地域の高齢者の方々が集まって楽しく過ごしています。また、子育て中の乳幼児がいるご家族を対象にした『子育てサロン』もあり、子育ての悩みや苦勞なども分かち合える場となっています。

「サロン活動を運営するうえで、担い手側は大変な部分もあるかもしれませんが、ご自身も楽しまれて運営して下さっているの

集まる方々も楽しく過ごして下さっているようです。お互いに楽しむことが、とても重要ですね」

「楽しくないと、人には伝わらない」  
～多摩にじの会～

ボランティアセンターに登録している団体の中でも、披露する演目のバリエーションの多さは随一の『多摩にじの会』。歌、三味線、和太鼓、オカリナ、踊



〈上〉軽沢さん(中央・和太鼓)とメンバーのみなさん(左)「マツケンサンバ」に合わせて踊りを楽しむ施設利用者(右)のみなさん



り、マジック等々、常時活動可能なボランティアが50名近く、所属者は全部で80名ほどいる大きな団体です。この団体の代表、軽沢正博さんは長年個人でもボランティア活動をしながら、平成8年に『多摩にじの会』を立ち上げました。ボランティアの依頼が入ると人の手配や、披露する内容構成まで考えているそうです。

「自分が楽しんでやらなければ、人を楽しませることはできません。そして、無理のない範囲で活動するのが非常に大事。せっかく始めたら、長く続けて欲しいので、メンバーにも「無理しないで」といつも言っています」

所属しているメンバーの方々も、「訪問した先で喜んでいただける顔を見るのが、自分自身の喜び」や「人との交流が好きだから続けられる」と、まず自分が楽しんでいける様子がうかがえます。

## ■訪問先の施設の声

デイサービスセンター  
『健康倶楽部北野』  
久田梨絵さん

『多摩にじの会』をはじめ、ボランティア団体数団体に毎月訪問していただいています。利用者からとても人気があります。多摩にじの会さんは参加型で、皆で歌を歌ったり、簡単な踊りを踊ったりと毎回楽しい内容ですね。施設にとっても、なくてはならない



〈上〉手作りの布製ボールでゲームを楽しむ(右)村野さん(前列右)とボランティアのみなさん



いレクリエーションとなっています」

「自分ができるところで地域貢献をしたい」  
～明神町あったかサロン～

毎月第4水曜日に明神町で開催されているふれあいいききサロン『あったかサロン』は、村野典子さんを中心に、ボランティア数名で運営。村野さんは40年近く、様々なかたちでボランティア活動を続けている

そうです。

そんな村野さんにボランティアについて聞いてみると、「一歩ふみ出す勇氣さえあれば、いつでも誰でもはじめられると思います。まずは、地域の催し物に参加していくことをおすすめします。新たな交流が生まれていき、そこからボランティアにつながることもあるかもしれません。そして、無理をしないこと。とにかくそれが大事ですね」



### 緊急時・災害時に備えて町自連研修会

## 「自分の命・家族の命」を守るために何をなすべきか！

# 守るために何をなすべきか！

町自連は2月21日、八王子いちようホールで清智会記念病院理事長、横山隆捷先生と東京医科大学八王子医療センター・救命救急センター長、新井隆男先生をお招きし、緊急時に必要な個人情報と防災活動を中心に「自分の命、家族の命」を守るために何をなすべきか！というテーマで研修会を開催しました。当日は町会・自治会から750名が参加して盛況でした。



盛況だった研修会

講演会開催に当たってまず主催者の町自連秋間利久会長、来賓の石森孝志八王子市長、内山徹八王子消防署長の挨拶に続き、横山隆捷先生、新井隆男先生が「緊急時・災害時」の命を守る

講演会開催に当たってまず主催者の町自連秋間利久会長、来賓の石森孝志八王子市長、内山徹八王子消防署長の挨拶に続き、横山隆捷先生、新井隆男先生が「緊急時・災害時」の命を守る



横山隆捷先生

### 緊急時に命を守るための備えは

東京都の救急車出動件数は昨年72万件を超え、過去最高を記録したそうです。そのうち1/3は75歳以上の年齢層でした。横山先生は自分の命を守るために緊急時に必要な個人情報を前もって準備しておくことが大事だと言います。

「八王子管内における緊急搬送は年間2万7千件以上になり、これを9台の車で運用しています。要請から救急車到着まで平均7分、病院選定まで約32分、加えて治療開始までさらに時間がかかります。この救急車到着から治療開始までの時間を縮めることができるのが個人の緊急医療情報なのです。この緊急医療情報シートには既往症、治療中の病气、服用している薬、かかりつけの病院など、迅速かつ効率的に医療を受け

るのに必要な事項を書き込めるようになっていきます。中にはもしもの時に医師に伝えたいことも選択できる項目もあります。

書き込むのは原則65歳以上ですが、身体に自信がない方などは記入していただいても構いません。自宅の冷蔵庫のドアなど分かりやすいところへ掲示しておいて下さい。

緊急医療は社会資源のひとつです。東京都はいつでもどこでも等しく緊急医療を受けられるという目標を掲げています。そのために町会自治会主催の催しなどにはご本人と共に家族で参加していくという姿勢により自助共助が有効に働くと「思います」



新井隆男先生

### 災害時に命を守るための備えは

災害時の医療に備え、東京は12の医療圏域に分割されているそうです。

南多摩医療圏の災害コーディネーターでもある新井先生は南多摩医療圏で災害時医療システムの構築に取り組んでいます。

「東日本大震災後、都の対策で大きく変わったことは2つあります。

1つは帰宅困難者を直ぐ帰宅させないこと、少なくとも3日間は動かないでいよう。移動による混乱を避けるためです。

2つ目は緊急医療救護所の設置。震災後、早く病院に着けるのは軽度の人です。そういう人で溢れると本当に危ない人に手が回らなくなります。病院の近くに救護所を作り、優先順位をチェックして重傷者を先に診る必要があります。

ただ、これらのことを円滑に行うにはどうしても地域の人たちが、また行政の連携が必要です。病院だけでは手が足りません。地域で防災マニュアルを作成する場合はこのようなことも想定しておいて下さい」

### 災害救助は9割が地域の自助、共助

講演後、参加者から

「震災が起きれば医療センターに行く道路、町田街道や甲州街道は、緊急車両優先の交通規制が敷かれる。各町会や自治会で緊急用として使う車を1、2台特別に許可してもらうことは出来ないでしょうか」

「緊急医療情報シート」の書き方などはネットでも紹介されています。シートが手元にならないときはネットからダウンロードしたものでいいのではないですか」「医療センターは現在でも治療を受けるのに長時間待たされています。災害時本当に対応できるのでどうか、心配です」

等々、防災に積極的な質疑が相次ぎました。震災の災害に遭い、助かった人のうち自助、共助によるものが9割を超えるといいます。地域防災はこれからも各町会・自治会、そして町自連の大きなテーマです。



## 八王子市の協力を得て 町会・自治会加入促進 ハンドブック作成

町自連は八王子市市民生活推進部協働推進課の全面的な協力を得て、「町会・自治会加入促進ハンドブック」を作成しました。

いま、多くの町会は、日頃から防犯・防災活動をはじめ、お祭りなどの諸行事を通じて「明るく住みよいまちづくり」を実践するとともに、地域の活性化を目指しています。

しかしながら、住民の価値観の多様化や近隣関係の希薄化などにより、その活動に参加しない住民も多

く、また、町会自治会の加入率は年々低下しています。

加入率の低下は、活動の担い手不足など運営面でも支障をきたすと共に、いざという時の地域での支え合いにも影響することから各町会・自治会でも加入促進に向けた様々な取り組みを行っています。一方で、町会・自治会活動を理解していただけないことから加入に結びつかず苦慮しているとの声も聞いています。こうした現状をふまえ、

ハンドブック表紙



このほど地域住民に加入を呼びかける際の基本的な方法や呼びかけの実践例を紹介した「町会・自治会加入促進ハンドブック」

を作成しました。

このハンドブックは各町会・自治会には数冊を配布する予定になっています。役員の皆様には、積極的に活用していただき、加入促進活動が大きく前進することを期待しています。

内容は①町会・自治会活動の再認識、②町会・自治会への加入状況、③加入の呼びかけの進め方、④一般的な想定質問と回答例、⑤事例紹介、⑥資料、となっています。

## 地域包括支援センターの 呼び名が変わります 愛称 高齢者あんしん センター

現在、八王子市にある15箇所の「地域包括支援センター」は、高齢者の皆さんがいつでも住み慣れた地域で生活ができるよう支援する拠点です。

この度、「地域包括支援

## 平成25年度 八王子市町会自治会連合会総会

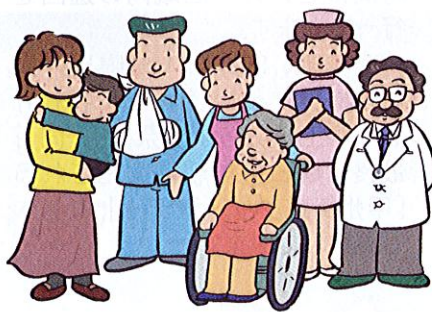
- 平成25年5月26日(日)17時
- エルシィ八王子
- 各町会・自治会代表1名参加

議案 平成24年度事業報告、決算報告、監査報告  
平成25年度事業計画案、予算案

家族の皆様で介護、福祉、医療などのご相談がありましたら担当地区の高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター）にお気軽にご連絡下さい。

### 問い合わせ

八王子市健康福祉部  
高齢者支援課  
(620・7244)



### 認知症サポーター 養成講座のお勧め

高齢化社会を迎え現在170万人の認知症患者がいます。その方をサポートする人を育成することが最重要課題となっており、その課題に応え、一人

でも多くの人にサポーターになっていただくための講座が「認知症サポーター養成講座」です。各町会・自治会で講座を開いていただくようご検討下さい。

問い合わせは、上記の健康福祉部高齢者支援課または最寄りの地域包括支援センターへ。

### 町会活動支援の 東京都助成金の 活用を

東京都は「地域の底力再生事業助成」を平成25年度から、予算を1億5千万円増額し、町会・自治会活動支援を強化します。

助成額は単位町会で20万円、地区連合会では100万円までとなっています。

おおいに活用して、町会・自治会活動をさらに発展させましょう。

### 問い合わせ

町自連事務局  
(648・6110)



## 町会・自治会活動ダイジェスト

### 町づくり3つの課題

子安町二丁目町会(東南部)



子安町二丁目町会はJR八王子駅南口へ1km側に位置し、中央には八王子市立いずみの森小中学校、六本杉公園があります。この公園は湧水池があり、八王子の八十八景の一つとして登録されています。また、東日本大震災以降、第二避難場所として指定され、学校・地域と連携した訓練を行っています。

#### ■きれいな町づくり

町会内には三ヶ所の公園があります。アドプト制度に基づき八王子市より日常管理を任されています。

#### ■安心・安全な町づくり

町会には防火防犯部、防災部があります。防火防犯は街頭設置や点灯確認、防災では防災対策を図るための計画を行っています。

#### ■笑顔の町づくり

月曜日から土曜日まで「ラジオ体操」を六本杉公園で行っています。イベントは子安神社に合わせ夏祭り、親睦会、講習会などコミュニケーションを深めています。



### 最大行事は「踊れ西八夏祭り」

千人町二丁目町会(千人町)



千人町二丁目町会の最大行事は「踊れ西八夏祭り」です。地元の西八商栄会の主催で毎年9月の第1土、日曜日の2日間開催しています。この祭りは地域の活性化を目的に平成14年から始まり、昨年で11回目の開催となりました。両日ともに夕方4時半開幕で阿波踊り、よさこいソーラン、民踊流しなど延べ1400人以上の踊り手が参加し、会場は熱気に包まれます。2011年からは東日本大震災の復興支援をテーマに被災地物産品を販売すると共に義援金募金活動も行っています。通常、来場者は4~5万人ですが昨年は、雨に見舞われたこともあって、およそ2万5千人でした。

また、毎月20日に実施している夜間パトロールは、千人町一丁目町会、千人町三、四町会との合同行事で、毎回30名ほどが参加し、3~4チームに分かれて1時間ほどかけて区域内の巡回を行っています。

この他、9月第1日曜日の浅川清掃デー、11月中旬に行われる「八王子いちょう祭り」、同月最終日曜日の早朝に実施される「甲州街道クリーンデー」などにも参加しています。

### 地域を支える町会活動

明神町三丁目町会(東部)



わが町会は八王子駅北口の京王プラザホテル東側に位置し、400世帯弱の小さな町会です。

町会運営は役員の高齢化が一層進むとともに、イベントの「人集め」も事前に周知しても成果は乏しく大変難儀しています。

このような中で最も成果を上げているのが防災訓練です。これは新町、東町、旭町を含めた連合町会による防災訓練で毎年、各町会が持ち回りで実施して17年目になります。毎年700人程度が参加していますが、改めて町民の災害に対する意識の高さを感じます。とくに訓練の大きな特徴のひとつに、一人では避難できない要援護者(四小地区災害時要援護者支援委員会規約に定める要介護者)を担架及び車椅子を利用して救出搬送訓練を行っています。

この他に、春にはお花見の会、夏には子安神社の祭礼に合わせて町内祭礼を行っています。秋には敬老事業として75歳以上のお年寄りに赤飯を配り、長寿を称える事業、市民大運動会への参加、研修バス旅行を実施し、親睦を深めています。最近、とくに凶悪事件が横行していることからパトロール隊を結成し毎月1回町内警戒パトロールを実施しています。

## 「町自連だより」にあなたの企業をPRしませんか?

この「町自連だより」は、八王子の12万世帯に配られています。八王子の皆さんに、あなたの会社を告知しませんか? 広告出稿のお問い合わせは

☎042-623-0381

ヒラツカ印刷社 担当平塚、鈴木まで

## 檜原斎場

八王子市檜原町1578番地5  
TEL: 042-620-3101

年2回無料で  
葬儀セミナーを  
開催しています。  
詳しくは市の広報で  
お知らせしています。

檜原斎場は、祭壇が常設されているため、ご葬儀費用が大幅に節減できます。また、壇払いや年忌法要専用のお部屋も用意しています。ご見学やご相談は、お気軽にお問い合わせください。



■JR八王子駅北口7番/京王八王子駅3番のりば→「檜原町」バス下車、徒歩7分  
■JR西八王子駅2番のりば→「四谷並木橋」バス下車、徒歩7分 ■場内駐車場180台。第2駐車場200台。



みんなの **介 護**

みんなの **医 療**

一人で悩まないのが  
「いい介護」への道

加藤公恵

● 医療法人社団 永生会 在宅総合ケアセンター センター長

4月は、学校も会社も新しい期が始まる時です。皆さん、いかがおすごしですか？ この連載も始まって約1年。このところ、私と同じ在宅介護に携わる専門家たちをご紹介してきました。今回は趣向を変え、皆さんから寄せられる「質問にお答えしたい」と思います。

この連載を始めてから、八王子市内で、「読んでますよ」といわれることが多くなりました。ありがたいことです。そして同時に、介護に関して、様々な質問を受けることが多くなりました。今回は特に女性から受ける質問に答えましよう。



加藤公恵さん

ら、施設に入ります。1人な

よ」と答えています。1人なら、施設に入ら

**Q1** 私はバツイチの独身です。子供はいません。今の日本では、独身の一人の老後は、暗いだけなのではないでしょうか？  
(女性 52歳 会社員)

のも、家で暮らすのも自由。子供がいると、子供に遠慮して子供の意見を通しがちです。それが自分の価値観と違うこともあるからです。そしてまた、女性はある程度のレベルまで、一人で生活することが可能なのです。認知症になっても、ある一定のエリアだけを徘徊し、ご近所と挨拶し、コンビニで買い物するくらいはできます。現代社会は、ちょっと変わったことをすると、白い目で見られがちですが、介護サービスに、できないことだけ少し手伝ってもらえるプラン

を立てるといいでしょう。  
**Q2** 母親の介護が始まりそうです。父親はどうに亡くなっており、一人っ子なので、他にケアしてくれる人がいません。仕事を辞めるしかないでしょうか？  
(女性 48歳 販売員)

**A2** 近年、介護を理由に仕事をやめる人が増えています。しかも、年々それには拍車がかかり、団塊世代が75歳に到達する2020年前半には、大きな社会問題になるかもしれないのです。団塊ジュニアは未婚率が高く、兄弟姉妹も少ない。だから、一人に負担が集中しやすいといえます。が、ご存知の通り、今の世の中で一度退職してからの再就職は至難の業。そして、自分の生活が母親の介護だけになると、うつになったり、共倒れの可能性もあります。仕事を辞める前に、市役所や地域の介護のプロに相談してください。介護のための退職は、最終手段です。

八王子市とともに歩み続けて50年  
より良質で安心な医療・介護を目指します

永生病院 南多摩病院 永生クリニック

- 介護老人保健施設 イマジン・マイウェイ四谷・オネスティ南町田
- 訪問看護ステーション とんぼ・めだか・ひばり・いるか
- 居宅介護支援事業所 片倉
- 認知症グループホーム 寿限無
- 通所リハビリテーション スマイル永生
- 八王子市高齢者あんしんセンター 片倉・寺田 片倉・寺田
- ケアプランセンター えいせい



無料シャトルバス運行中  
永生病院⇔西八王子駅南口(めじる台駅・南多摩病院経由)



医療法人社団 永生会

総合コールセンター ☎ 0120-001-083

http://www.eisei.or.jp 八王子市桐田町 583-15



子育て家庭の強い味方

『キッズタクシー』

教育を受けた乗務員が  
お子さんを送迎



八王子市の『子育て応援企業』にも登録をしているタクシーの三和交通では、2011年秋より「キッズタクシー」「陣痛119番登録」などのサービスを開始しています。「キッズタクシー」は、塾

や習い事の時間帯に子どもを送り迎えすることができない親の代わりとなって送迎サービスをしたり、子どもを連れて大きな荷物を持たなければならぬ時や、ベビーカーの積み降ろしなどトランクサービスをして

くれる、子育て世代に優しいサービスです。

送迎サービスは小学生以上のお子さんであれば一人でも乗車可能、送り先へ着いた後は、乗務員が送り先の方に「きちんと無事に送り届けたこと」を直接伝えることも必ず実施しているそう。事前に『キッズタクシー利用』と無料登録しておけば、急な発熱の際の病院搬送など、

送迎以外でも対応。料金は通常料金と同じなので、事前に登録しておくことで安心です。

また『陣痛119番登録』というサービスでは、事前にかかりつけ医や緊急連絡先などを無料登録しておけば、いざという時にすぐかけつけてくれ、病院までスムーズに送り届けてくれるそう。いずれのサービスも専用の教育を受けた乗務員が担当しています。

「当社は、地域で一番やさしいタクシー」を目指しています。その他にも『救済タクシー』という、病院への送迎や処方箋をお預かりして、薬局に代わりに薬を受け取るサービスなど、お客様のちょっとした不便をなくすため、様々な取り組みをしています」

子育て中、どうしても外せない用事で誰も迎えに行けことができないという時や共働き世帯では、このようなサービスを利用すれば、親の不在時も安心です。



たまにいくら八王子

御殿峠にたたずむ、  
趣きのあるコーヒー専門店  
パペルブル 鐘水

住所：八王子市鐘水530-1  
TEL：042-677-5511  
営業時間：10時～24時(年中無休)  
席数：60席  
駐車場：平日7台/土日祝は山野美容芸術短期大学の駐車場も使用可  
パーティー、サロンコンサート、各種発表会等での貸し切りも可能。  
詳細はお問い合わせ下さい。

や、ミルクたっぷりのドイツのアレンジコーヒー「ベッケヘルツ」など。1日を通してコーヒーと共にいただけるフードやデザートメニューも充実。中でもお得なのは、平日15時～19時限定の「アフタヌーンプレート」。サンドウィッチ、スコーン、シフォンケーキなど、女性なら二人でシェアできる盛りだくさんのメニューです。味も雰囲気もヨーロッパを感じられる“大人の空間”で、優雅でゆったりとした時間を過ごしてみませんか？

国道16号「御殿峠」近く、レンガ造りの洋館『パペルブルグ』はオーナーが兄弟で始めた、今年22年目のコーヒー専門店。「お酒が飲めない人でもゆっくりできるスペースを」と、深夜12時まで営業しています。厳選した世界各地のコーヒー豆を“ジャーマンロースト”というダブル焙煎で自家焙煎し、酸味が少なくコクのあるコーヒーを提供。100種類以上もあるドリンク類の中でも人気はオリジナルの「ブルグブレンド」

セレオ八王子北館

4月より屋上など  
新規施設がオープン

「セレオ八王子北館」は、4月1日に屋上を『エキソラガーデン』としてオープンしました。貸菜園、フットサルコートなどを新設、ガーデンテラスやウッドデッキもあり緑あふれた開放的な空間が広がります。また、施設内にはクリニック、認定子ども園なども同時オープンし、さらに便利になりました。これからの暖かい季節、屋上で、駅上散歩を家族やお友達と気軽に楽しんでみませんか。



貸菜園「ソラドファーム」イメージ